

# 平成 19 年商業統計調査結果

## 概 況

平成 19 年商業統計調査(経済産業省所管指定統計第 23 号)結果にみる本市の商業は、平成 19 年 6 月 1 日現在で事業所数 13,348 事業所、従業者数 91,461 人、年間商品販売額 3 兆 691 億円となっている。

これを、前回調査(平成 14 年 6 月 1 日)と比べると、事業所数は 2,059 事業所(13.4%)減、従業者数は 7,903 人(8.0%)減、年間商品販売額は 231 億円(0.7%)減といずれも減少している。

また、卸売・小売業別の構成を見ると、事業所数は卸売業 19.9%、小売業 80.1%、従業者数は卸売業 28.1%、小売業 71.9%、年間商品販売額は卸売業 64.5%、小売業 35.5%となっている。

第 1 - 1 表 事業所数、従業者数及び年間商品販売額の推移 (単位：金額百万円、面積㎡)

産業分類		6年	9年	14年			19年		
		実数	実数	実数	構成比	増減率	実数	構成比	増減率
						14/9			19/14
事業所数	合計	18,553	17,570	15,407	100.0	12.3	13,348	100.0	13.4
	卸売業	3,727	3,438	3,019	19.6	12.2	2,652	19.9	12.2
	小売業	14,826	14,132	12,388	80.4	12.3	10,696	80.1	13.7
従業者数	合計	106,941	106,955	99,364	100.0	7.1	91,461	100.0	8.0
	卸売業	35,488	34,537	29,264	29.5	15.3	25,668	28.1	12.3
	小売業	71,453	72,418	70,100	70.5	3.2	65,793	71.9	6.1
年間商品販売額	合計	3,714,206	3,958,765	3,092,196	100.0	21.9	3,069,052	100.0	0.7
	卸売業	2,475,858	2,657,036	1,978,094	64.0	25.6	1,978,663	64.5	0.0
	小売業	1,238,348	1,301,729	1,114,102	36.0	14.4	1,090,389	35.5	2.1
売場面積	小売業	1,249,631	1,273,935	1,232,274	-	3.3	1,375,333	-	11.6

## 1 事業所数

平成 19 年 6 月 1 日現在で、北九州市の卸売業及び小売業の事業所数は 13,348 事業所である。平成 14 年調査と比べて 2,059 事業所(13.4%)減少している。

これを卸売業、小売業別にみると、卸売業は 2,652 事業所で前回調査と比べ 367 事業所 (12.2%)減少し、小売業も 10,696 事業所で同 1,692 事業所(13.7%)減少している。

### (1) 産業分類別事業所数

事業所数を産業中分類別にみると、卸売業では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が 738 事業所で最も多く、卸売業の 27.8%を占めている。次いで機械器具卸売業 696 事業所(構成比 26.2%)、その他の卸売業 582 事業所(同 21.9%)と続いている。前回調査と比べると、各種商品卸売業の増減はないが、機械器具卸売業が 18.9% 減、繊維・衣服等卸売業が 10.1% 減など、その他の業種では減少している。

小売業では、飲食料品小売業が 4,068 事業所で最も多く、小売業の 38.0%を占めている。次いでその他の小売業 3,578 事業所(構成比 33.5%)、織物・衣服・身の回り品小売業 1,592 事業所(同 14.9%)と続き、これらの 3 業種で小売業の 86.4%を占めている。前回調査と比べると、各種商品小売業が 15.9%と増加しているが、飲食料品小売業が 19.4% 減など、その他の業種で減少している。

第1-2表 産業分類別事業所数

産 業 分 類	事業所数		構成比		増減率
	14年	19年	14年	19年	19/14
合 計	15,407	13,348			13.4
卸 売 業	3,019	2,652	100.0	100.0	12.2
49 各種商品卸売業	16	16	0.5	0.6	0.0
50 繊維・衣服等卸売業	109	98	3.6	3.7	10.1
51 飲食料品卸売業	575	522	19.0	19.7	9.2
52 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	817	738	27.1	27.8	9.7
53 機械器具卸売業	858	696	28.4	26.2	18.9
54 その他卸売業	644	582	21.3	21.9	9.6
小 売 業	12,388	10,696	100.0	100.0	13.7
55 各種商品小売業	44	51	0.4	0.5	15.9
56 織物・衣服・身の回り品小売業	1,788	1,592	14.4	14.9	11.0
57 飲食料品小売業	5,048	4,068	40.7	38.0	19.4
58 自動車・自転車小売業	648	582	5.2	5.4	10.2
59 家具・じゅう器・機械器具小売業	987	825	8.0	7.7	16.4
60 その他小売業	3,873	3,578	31.3	33.5	7.6

(2) 従業者規模別事業所数

事業所数を従業者規模別にみると、卸売業では5～9人規模が781事業所と最も多く、卸売業の29.4%を占めている。次いで3～4人規模が627事業所(構成比23.6%)、2人以下規模が495事業所(同18.7%)と続いている。前回調査と比べると、20～29人規模で4.6%と増加しているが、50～99人規模が31.4%減など、7区分で減少している。

小売業についてみると、2人以下規模の事業所が4,801事業所と最も多く、小売業の44.9%を占めている。次いで3～4人規模が2,507事業所(構成比23.4%)、5～9人規模が1,839事業所(同17.2%)と続いている。前回調査と比べると、100人以上規模の事業所が20.7%増、50～99人規模が6.5%増と大規模事業所で増加している。一方、2人以下規模が17.5%減、3～4人規模が14.6%減と小規模事業所で減少している。

第1-3表 従業者規模別事業所数

区 分 従業者規模別	事業所数		構成比		増減率
	14年	19年	14年	19年	19/14
合 計	15,407	13,348	100.0	100.0	13.4
2人以下	6,409	5,296	41.6	39.7	17.4
3～4人	3,656	3,134	23.7	23.5	14.3
5～9	2,933	2,620	19.0	19.6	10.7
10～19	1,549	1,477	10.1	11.1	4.6
20～29	448	434	2.9	3.3	3.1
30～49	240	221	1.6	1.7	7.9
50～99	128	117	0.8	0.9	8.6
100人以上	44	49	0.3	0.4	11.4
卸 売 業	3,019	2,652	100.0	100.0	12.2
2人以下	587	495	19.4	18.7	15.7
3～4人	719	627	23.8	23.6	12.8
5～9	912	781	30.2	29.4	14.4
10～19	493	457	16.3	17.2	7.3
20～29	151	158	5.0	6.0	4.6
30～49	91	85	3.0	3.2	6.6
50～99	51	35	1.7	1.3	31.4
100人以上	15	14	0.5	0.5	6.7
小 売 業	12,388	10,696	100.0	100.0	13.7
2人以下	5,822	4,801	47.0	44.9	17.5
3～4人	2,937	2,507	23.7	23.4	14.6
5～9	2,021	1,839	16.3	17.2	9.0
10～19	1,056	1,020	8.5	9.5	3.4
20～29	297	276	2.4	2.6	7.1
30～49	149	136	1.2	1.3	8.7
50～99	77	82	0.6	0.8	6.5
100人以上	29	35	0.2	0.3	20.7

## 2 従業者数

平成 19 年 6 月 1 日現在の従業者数は 91,461 人であり、このうち卸売業は 25,668 人、小売業は 65,793 人となっている。これを前回調査と比べると、卸売業で 3,596 人(12.3%)減少し、小売業では 4,307 人(6.1%)減少しており、商業全体で従業者数は 7,903 人(8.0%)減少している。

### (1) 業種別従業者数

従業者数を産業中分類別にみると、卸売業では飲食料品卸売業が 6,696 人で最も多く、卸売業の 26.1% を占めている。次いで機械器具卸売業 6,144 人(構成比 23.9%)、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 6,080 人(同 23.7%)、その他の卸売業 5,853 人(同 22.8%)と続き、これら 4 業種で卸売業の 96.5% を占めている。前回調査と比べると、各種商品卸売業が 57.0% 増加しているが、その他の業種で減少している。

小売業では、飲食料品小売業が 26,219 人と最も多く、小売業の 39.9% を占めている。次いで、その他の小売業 18,671 人(構成比 28.4%)と続き、これら 2 業種で小売業の 68.2% を占めている。前回調査と比べると、各種商品小売業が 19.4% 増加しているが、その他の業種で減少している。

第 2 - 1 表 卸売業、小売業従業者数の業種別構成比

産 業 分 類	従 業 者 数		構 成 比		増 減 率
	14 年	19 年	14 年	19 年	19 / 14
合 計	99,364	91,461	%	%	%
卸 売 業	29,264	25,668	100.0	100.0	12.3
各 種 商 品 卸 売 業	100	157	0.3	0.6	57.0
織 維 ・ 衣 服 等 卸 売 業	903	738	3.1	2.9	18.3
飲 食 料 品 卸 売 業	7,762	6,696	26.5	26.1	13.7
建 築 材 料 ・ 鉱 物 ・ 金 属 材 料 等 卸 売 業	6,534	6,080	22.3	23.7	6.9
機 械 器 具 卸 売 業	7,484	6,144	25.6	23.9	17.9
そ の 他 の 卸 売 業	6,481	5,853	22.1	22.8	9.7
小 売 業	70,100	65,793	100.0	100.0	6.1
各 種 商 品 小 売 業	4,726	5,641	6.7	8.6	19.4
織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	6,837	6,193	9.8	9.4	9.4
飲 食 料 品 小 売 業	28,584	26,219	40.8	39.9	8.3
自 動 車 ・ 自 転 車 小 売 業	4,556	4,190	6.5	6.4	8.0
家 具 ・ じ ゅ う 器 ・ 機 械 器 具 小 売 業	5,099	4,879	7.3	7.4	4.3
そ の 他 の 小 売 業	20,298	18,671	29.0	28.4	8.0

### (2) 従業者規模別従業者数

従業者数を従業者規模別にみると、卸売業では 10～19 人規模が 6,080 人と最も多く、卸売業の 23.7% を占めており、次いで 5～9 人規模が 5,133 人(構成比 20.0%)と続いている。前回調査と比べると、20～29 人規模が 4.8% 増となっている。一方、50～99 人規模が 31.9% 減、100 人以上規模が 20.6% 減など、その他の区分で減少している。

小売業では 10～19 人規模が 13,657 人と最も多く、小売業の 20.8% を占めている。次いで 5～9 人規模が 11,809 人(構成比 17.9%)、次いで 3～4 人規模が 8,528 人(同 13.0%)と続いている。前回調査と比べると、100 人以上規模が 21.8% 増、50～99 人規模が 8.5% 増と、大規模事業所で増加している。一方、2 人以下規模が 19.5% 減、3～4 人規模が 14.7% 減など、小規模事業所で減少している。

第2-2表 従業者規模別従業者数

区分, 従業者規模別	従業者数		構成比		増減率
	14年	19年	14年	19年	19/14
			%	%	%
合計	99,364	91,461	100.0	100.0	8.0
2人以下	10,484	8,462	10.6	9.3	19.3
3～4人	12,486	10,692	12.6	11.7	14.4
5～9	19,010	16,942	19.1	18.5	10.9
10～19	20,704	19,737	20.8	21.6	4.7
20～29	10,514	10,170	10.6	11.1	3.3
30～49	9,020	8,262	9.1	9.0	8.4
50～99	8,771	8,061	8.8	8.8	8.1
100人以上	8,375	9,135	100.0	10.0	9.1
卸売業	29,264	25,668	100.0	100.0	12.3
2人以下	1,022	849	3.5	3.3	16.9
3～4人	2,492	2,164	8.5	8.4	13.2
5～9	5,998	5,133	20.5	20.0	14.4
10～19	6,603	6,080	22.6	23.7	7.9
20～29	3,577	3,749	12.2	14.6	4.8
30～49	3,449	3,237	11.8	12.6	6.1
50～99	3,610	2,460	12.3	9.6	31.9
100人以上	2,513	1,996	8.6	7.8	20.6
小売業	70,100	65,793	100.0	100.0	6.1
2人以下	9,462	7,613	13.5	11.6	19.5
3～4人	9,994	8,528	14.3	13.0	14.7
5～9	13,012	11,809	18.6	17.9	9.2
10～19	14,101	13,657	20.1	20.8	3.1
20～29	6,937	6,421	9.9	9.8	7.4
30～49	5,571	5,025	7.9	7.6	9.8
50～99	5,161	5,601	7.4	8.5	8.5
100人以上	5,862	7,139	8.4	10.9	21.8

### 3 年間商品販売額

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの年間商品販売額は、前回調査と比べると231億円(0.7%)減の3兆691億円となっている。このうち卸売業は、1兆9,787億円、小売業は1兆904億円となっている。

#### (1) 産業分類別年間商品販売額

年間商品販売額を産業中分類別にみると、卸売業では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が6,511億円で最も多く、卸売業の32.9%を占めている。次いで飲食料品卸売業4,813億円(構成比24.3%)、機械器具卸売業4,089億円(同20.7%)、その他の卸売業4,041億円(同20.4%)と続き、これら4業種で卸売業の98.3%を占めている。前回調査と比べると、各種商品卸売業が133.3%増、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が19.8%増と大幅に増加、その他の卸売業で4.7%増加しているのに対し、飲食料品卸売業が19.4%、繊維・衣服等卸売業が13.6%、機械器具卸売業が3.2%と減少している。

小売業では、飲食料品小売業が3,126億円と最も多く、小売業の28.7%を占めている。次いで、その他の小売業2,865億円(構成比26.3%)、各種商品小売業1,803億円(同16.5%)と続いている。前回調査と比べると、その他の小売業が9.9%、家具・じゅう器・機械器具小売業が7.2%増加しているのに対し、織物・衣服・身の回り品小売業が17.9%減など、4業種で減少している。

第3 - 1表 産業分類別年間商品販売額

産 業 分 類	年間商品販売額		構 成 比		増減率	1事業所当たり販売額	
	14年	19年	14年	19年	19/14	14年	19年
	百万円	百万円	%	%	%	百万円	百万円
合 計	3,092,196	3,069,052			0.7	200.7	229.9
卸 売 業	1,978,094	1,978,663	100.0	100.0	0.0	655.2	746.1
49 各種商品卸売業	5,696	13,292	0.3	0.7	133.3	356.0	830.8
50 繊維・衣服等卸売業	23,165	20,023	1.2	1.0	13.6	212.5	204.3
51 飲食物品卸売業	597,137	481,306	30.2	24.3	19.4	1,038.5	922.0
52 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	543,494	651,061	27.5	32.9	19.8	665.2	882.2
53 機械器具卸売業	422,537	408,904	21.4	20.7	3.2	492.5	587.5
54 その他の卸売業	386,065	404,076	19.5	20.4	4.7	599.5	694.3
小 売 業	1,114,102	1,090,389	100.0	100.0	2.1	89.9	101.9
55 各種商品小売業	182,826	180,298	16.4	16.5	1.4	4,155.1	3,535.3
56 繊維・衣服・身の回り品小売業	89,676	73,662	8.0	6.8	17.9	50.2	46.3
57 飲食物品小売業	337,559	312,566	30.3	28.7	7.4	66.9	76.8
58 自動車・自転車小売業	134,144	120,393	12.0	11.0	10.3	207.0	206.9
59 家具・じゅう器・機械器具小売業	109,192	117,017	9.8	10.7	7.2	110.6	141.8
60 その他の小売業	260,705	286,453	23.4	26.3	9.9	67.3	80.1

(2) 従業者規模別年間商品販売額

従業者規模別に年間商品販売額をみると、卸売業では10～19人規模が5,469億円と最も多く、卸売業の27.6%を占めている。次いで5～9人規模3,808億円(構成比19.2%)、20～29人規模2,860億円(同14.5%)と続いている。前回調査と比べると、30～49人規模が27.8%増、10～19人規模が15.4%増、20～29人規模が10.2%増と、3区分で増加している。一方、50～99人規模が33.1%減など、5区分で減少している。

小売業では、10～19人が2,140億円と最も多く、小売業の19.6%を占めている。次いで100人以上規模2,042億円(構成比18.7%)、5～9人規模1,993億円(同18.3%)と続いている。前回調査と比べると、2人以下規模が20.7%減など、4区分で減少している。

第3 - 2表 従業者規模別年間商品販売額

区 分, 従業者規模別	年間商品販売額		構 成 比		増減率
	14年	19年	14年	19年	19/14
	百万円	百万円	%	%	%
合 計	3,092,196	3,069,052	100.0	100.0	0.7
2人以下	133,930	104,598	4.3	3.4	21.9
3～4人	266,721	232,241	8.6	7.6	12.9
5～9	589,415	580,074	19.1	18.9	1.6
10～19	689,205	760,865	22.3	24.8	10.4
20～29	365,472	379,878	11.8	12.4	3.9
30～49	326,589	391,877	10.6	12.8	20.0
50～99	391,171	301,078	12.7	9.8	23.0
100人以上	329,693	318,441	10.7	10.4	3.4
卸 売 業	1,978,094	1,978,663	100.0	100.0	0.0
2人以下	57,968	44,331	2.9	2.2	23.5
3～4人	153,720	132,978	7.8	6.7	13.5
5～9	393,133	380,817	19.9	19.2	3.1
10～19	473,753	546,887	23.9	27.6	15.4
20～29	259,537	285,968	13.1	14.5	10.2
30～49	222,588	284,548	11.3	14.4	27.8
50～99	282,501	188,899	14.3	9.5	33.1
100人以上	134,894	114,234	6.8	5.8	15.3
小 売 業	1,114,102	1,090,389	100.0	100.0	2.1
2人以下	75,963	60,267	6.8	5.5	20.7
3～4人	113,001	99,263	10.1	9.1	12.2
5～9	196,282	199,257	17.6	18.3	1.5
10～19	215,451	213,978	19.3	19.6	0.7
20～29	105,935	93,910	9.5	8.6	11.4
30～49	104,001	107,329	9.3	9.8	3.2
50～99	108,670	112,179	9.8	10.3	3.2
100人以上	194,798	204,207	17.5	18.7	4.8

#### 4 売場面積

平成 19 年 6 月 1 日現在の小売業の売場面積（牛乳小売業、自動車（新車・中古）小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド、新聞小売業、通信・カタログ販売等の事業所を除く）は 137 万 5,333 ㎡で、前回調査に比べると 14 万 3,059 ㎡増加している。

これを産業中分類別にみるとその他の小売業が 33 万 7,864 ㎡と最も広く、全体の 24.6%を占めている。次いで飲食料品小売業 33 万 4,248 ㎡（構成比 24.3%）、各種商品小売業 27 万 3,154 ㎡（同 19.9%）と続いている。

前回調査と比べると、その他の小売業が 22.0% 増、家具・じゅう器・機械器具小売業が 21.8% 増、各種商品小売業が 18.7% 増と大幅に増加している。一方、飲食料品小売業が 3.0% 減など 2 業種で減少している。

1 事業所当たりの売場面積をみると、各種商品小売業が 5,463 ㎡と最も広く、次いで家具・じゅう器・機械器具小売業 364 ㎡と続いている。前回調査と比べると、各種商品小売業を除いた 5 業種で増加している。

第 4 - 1 表 産業分類別売場面積

産 業 分 類	売 場 面 積		構 成 比		増 減 率	1 事業所当たり売場面積	
	14年	19年	14年	19年	19/14	14年	19年
	㎡	㎡	%	%	%	㎡	㎡
小 売 業	1,232,274	1,375,333	100.0	100.0	11.6	111.4	145.2
55 各 種 商 品 小 売 業	230,042	273,154	18.7	19.9	18.7	5,477.2	5,463.1
56 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	150,246	156,530	12.2	11.4	4.2	85.3	99.5
57 飲 食 料 品 小 売 業	344,568	334,248	28.0	24.3	3.0	70.8	85.3
58 自 動 車 ・ 自 転 車 小 売 業	30,635	30,116	2.5	2.2	1.7	124.5	144.1
59 家 具 ・ じゅう器 ・ 機 械 器 具 小 売 業	199,855	243,421	16.2	17.7	21.8	247.3	363.9
60 そ の 他 の 小 売 業	276,928	337,864	22.5	24.6	22.0	82.9	110.6

#### 5 販売効率

##### (1) 1 事業所当たり年間商品販売額

1 事業所当たり年間商品販売額をみると、卸売業は 7 億 4,610 万円で前回調査と比べて 9,089 万円増加し、小売業は 1 億 194 万円で、同様に 1,201 万円増加している。

これを産業中分類別にみると、卸売業では飲食料品卸売業が 9 億 2,204 万円と最も多く、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が 8 億 8,220 万円となっている。

小売業では各種商品小売業が 35 億 3,526 万円と最も多く、次いで自動車・自転車小売業が 2 億 686 万円となっている。

##### (2) 売場面積 1 ㎡当たり年間商品販売額

売場面積 1 ㎡当たりの年間商品販売額をみると、小売業（牛乳小売業、自動車（新車・中古）小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド、新聞小売業、通信・カタログ販売等の事業所を除く）全体では、60 万円で前回調査と比べて 11 万円減少している。

これを産業中分類別にみると飲食料品小売業の 86 万円が最も多く、次いで各種商品小売業 59 万円と続いている。

##### (3) 従業者 1 人当たり年間商品販売額

従業者 1 人当たり年間商品販売額をみると、卸売業は 8,064 万円、小売業は 1,980 万円となっている。

これを産業中分類別にみると、卸売業では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が 1 億 917 万円と最も多く、次いで各種商品卸売業 8,466 万円、飲食料品卸売業 7,787 万円と続いている。

小売業では、各種商品小売業が 3,940 万円で最も多く、次いで自動車・自転車小売業 2,896 万円、家具・じゅう器・機械器具小売業 2,618 万円と続いている。

第5 - 1表 販売効率(単位当たり年間商品販売額)

産 業 分 類	1事業所当たり		売場面積 1㎡当たり		従業者1人当たり
	14年	19年	14年	19年	19年
	万円	万円	万円	万円	万円
合 計	20,070.1	22,992.6	71.2	60.0	3,855.3
卸 売 業	65,521.5	74,610.2	-	-	8,064.0
49 各種商品卸売業	35,601.8	83,076.1	-	-	8,466.4
50 繊維・衣服等卸売業	21,252.0	20,432.1	-	-	2,856.4
51 飲食物品卸売業	103,849.9	92,204.3	-	-	7,786.9
52 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	66,523.1	88,219.6	-	-	10,916.5
53 機械器具卸売業	49,246.8	58,750.6	-	-	6,718.8
54 その他の卸売業	59,948.0	69,428.8	-	-	7,417.0
小 売 業	8,993.4	10,194.4	71.2	60.0	1,980.0
55 各種商品小売業	415,513.8	353,526.3	78.9	59.2	3,940.1
56 織物・衣服・身の回り品小売業	5,015.4	4,627.0	56.9	45.9	1,275.8
57 飲食物品小売業	6,687.0	7,683.5	90.1	86.2	1,526.0
58 自動車・自転車小売業	20,701.2	20,686.1	54.0	46.1	2,895.5
59 家具・じゅう器・機械器具小売業	11,063.0	14,183.9	50.5	43.9	2,617.8
60 その他の小売業	6,731.3	8,005.9	65.8	54.0	1,835.2

6 行政区別の状況

(1) 卸売業

卸売業の状況を各行政区別にみると、事業所数では小倉北区が1,024事業所と最も多く、全体の38.6%を占めている。次いで八幡西区の453事業所(構成比17.1%)となっており、この2区で全体の55.7%を占めている。前回調査と比べると、若松区が10.2%増加しているが、その他の区は小倉北区が18.7%減など、6区で減少している。

次に従業者数をみると、小倉北区が11,560人で最も多く、全体の45.0%とほぼ半数を占めている。次いで八幡西区4,019人(構成比15.7%)、小倉南区3,790人(同14.8%)と続いている。前回調査と比べると、若松区が20.2%増加している。一方、小倉北区が18.8%減など、6区で減少している。

第6 - 1表 区別の事業所数及び従業者数

区 別	事 業 所 数				従 業 者 数			
	14年	19年		増減率	14年	19年		増減率
	実数	実数	構成比	19/14	実数	実数	構成比	19/14
			%	%			%	%
【 合 計 】								
北九州市	15,407	13,348	100.0	13.4	99,364	91,461	100.0	8.0
門司区	1,720	1,474	11.0	14.3	8,381	8,098	8.9	3.4
小倉北区	4,519	3,790	28.4	16.1	34,021	29,401	32.1	13.6
小倉南区	2,098	2,002	15.0	4.6	16,198	15,531	17.0	4.1
若松区	1,169	1,065	8.0	8.9	6,445	7,113	7.8	10.4
八幡東区	1,389	1,268	9.5	8.7	6,692	6,937	7.6	3.7
八幡西区	3,350	2,792	20.9	16.7	21,685	19,309	21.1	11.0
戸畑区	1,162	957	7.2	17.6	5,942	5,072	5.5	14.6
【 卸 売 業 】								
北九州市	3,019	2,652	100.0	12.2	29,264	25,668	100.0	12.3
門司区	272	235	8.9	13.6	1,816	1,779	6.9	2.0
小倉北区	1,260	1,024	38.6	18.7	14,231	11,560	45.0	18.8
小倉南区	413	405	15.3	1.9	4,257	3,790	14.8	11.0
若松区	147	162	6.1	10.2	1,404	1,687	6.6	20.2
八幡東区	213	185	7.0	13.1	1,796	1,574	6.1	12.4
八幡西区	518	453	17.1	12.5	4,290	4,019	15.7	6.3
戸畑区	196	188	7.1	4.1	1,470	1,259	4.9	14.4
【 小 売 業 】								
北九州市	12,388	10,696	100.0	13.7	70,100	65,793	100.0	6.1
門司区	1,448	1,239	11.6	14.4	6,565	6,319	9.6	3.7
小倉北区	3,259	2,766	25.9	15.1	19,790	17,841	27.1	9.8
小倉南区	1,685	1,597	14.9	5.2	11,941	11,741	17.8	1.7
若松区	1,022	903	8.4	11.6	5,041	5,426	8.2	7.6
八幡東区	1,176	1,083	10.1	7.9	4,896	5,363	8.2	9.5
八幡西区	2,832	2,339	21.9	17.4	17,395	15,290	23.2	12.1
戸畑区	966	769	7.2	20.4	4,472	3,813	5.8	14.7

年間商品販売額をみると、小倉北区が9,463億円と最も多く、全体の47.8%と半数近くを占めている。次いで小倉南区2,701億円(構成比13.7%)、八幡西区2,466億円(同12.5%)と続いている。前回調査と比べると、小倉北区が16.3%減少しているのに対し、その他の区については増加している。

第6-2表 区別の年間商品販売額及び売場面積

区 別	年 間 商 品 販 売 額				売 場 面 積			
	14年		19年		14年		19年	
	実数	実数	構成比	増減率	実数	実数	構成比	増減率
	百万円	百万円	%	%	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	%	%
【合 計】								
北九州市	3,092,196	3,069,052	100.0	0.7	1,232,274	1,375,333	100.0	11.6
門 司 区	208,948	255,217	8.3	22.1	99,157	102,105	7.4	3.0
小倉北区	1,494,753	1,308,352	42.6	12.5	354,276	366,022	26.6	3.3
小倉南区	423,378	466,351	15.2	10.2	206,421	259,730	18.9	25.8
若 松 区	168,674	218,415	7.1	29.5	83,331	119,454	8.7	43.3
八幡東区	128,836	143,153	4.7	11.1	59,720	121,314	8.8	103.1
八幡西区	500,041	513,095	16.7	2.6	347,885	330,130	24.0	5.1
戸 畑 区	167,566	164,469	5.4	1.8	81,484	76,578	5.6	6.0
【卸売業】								
北九州市	1,978,094	1,978,663	100.0	0.0	-	-	-	-
門 司 区	123,647	177,965	9.0	43.9	-	-	-	-
小倉北区	1,130,794	946,269	47.8	16.3	-	-	-	-
小倉南区	224,136	270,133	13.7	20.5	-	-	-	-
若 松 区	102,150	144,361	7.3	41.3	-	-	-	-
八幡東区	72,757	81,033	4.1	11.4	-	-	-	-
八幡西区	225,258	246,623	12.5	9.5	-	-	-	-
戸 畑 区	99,352	112,279	5.7	13.0	-	-	-	-
【小売業】								
北九州市	1,114,102	1,090,389	100.0	2.1	1,232,274	1,375,333	100.0	11.6
門 司 区	85,301	77,252	7.1	9.4	99,157	102,105	7.4	3.0
小倉北区	363,959	362,083	33.2	0.5	354,276	366,022	26.6	3.3
小倉南区	199,242	196,217	18.0	1.5	206,421	259,730	18.9	25.8
若 松 区	66,524	74,055	6.8	11.3	83,331	119,454	8.7	43.3
八幡東区	56,079	62,119	5.7	10.8	59,720	121,314	8.8	103.1
八幡西区	274,783	266,472	24.4	3.0	347,885	330,130	24.0	5.1
戸 畑 区	68,214	52,190	4.8	23.5	81,484	76,578	5.6	6.0

## (2) 小売業

小売業の状況を各区分にみると、事業所数は小倉北区が2,766事業所と最も多く、全体の25.9%を占めている。次いで、八幡西区2,339事業所(構成比21.9%)、小倉南区1,597事業所(同14.9%)と続いている。前回調査と比べると、戸畑区が20.4%減、八幡西区が17.4%減など、すべての区で減少している。

次に従業者数をみると、小倉北区が17,841人と最も多く、全体の27.1%を占めている。次いで八幡西区15,290人(構成比23.2%)と続いている。この2区で全体の半数を占めている。前回調査と比べると、八幡東区が9.5%、若松区が7.6%増加している。一方、戸畑区が14.7%減など5区で減少している。

年間商品販売額をみると、小倉北区が3,621億円と最も多く全体の33.2%を占めている。次いで、八幡西区2,665億円(構成比24.4%)、小倉南区1,962億円(同18.0%)と続いている。この3区で全体の75.6%を占めている。前回調査と比べると、若松区が11.3%増、八幡東区が10.8%増と、2区で増加している。一方、戸畑区が23.5%減など、5区で減少している。

売場面積をみると、小倉北区が36万6,022m<sup>2</sup>と最も多く、全体の26.6%を占めている。次いで、八幡西区33万130m<sup>2</sup>(構成比24.0%)、小倉南区25万9,730m<sup>2</sup>(同18.9%)と続いている。前回調査と比べると、八幡東が103.1%増、若松区が43.3%増、小倉南区が25.8%増など、5区で増加しているのに対し、戸畑区が6.0%減、八幡西区が5.1%減と、2区で減少している。